

5分ずつ
学ぼう

新 任 者 向 け

認 定 調 査 員 研 修



介護の手間はどう書くの？

後編

この動画で確認しよう



2 特記事項記載のポイント

【テキストの定義外・追加で必要な情報】

一次判定で把握できない
(=統計的に把握できない) 介護の手間
⇒ 二次判定で評価しています。

○テキストの定義上は
選択肢の選択基準に含まれないが、
介護の手間がかかっている場合

○その人特有の事情により
介護の手間がかかっている場合
⇒ 特記事項に記載しましょう。



2 特記事項記載のポイント



【テキストの定義外・追加で必要な情報】

☆ 記載例

2群の2「移動」（介助の方法）

「トイレや食事、入浴など、
屋内の必要な場所への移動については
自分で移動するので、①を選択するが、

（→テキスト定義上の説明）

屋外の移動では転倒リスクがあるため、
付き添いによる見守りを行っている。」

（→テキスト定義外であるが、
介護の手間がかかっている説明）

2 特記事項記載のポイント

【テキストの定義外・追加で必要な情報】

☆ 記載例

2群の10「上衣の着脱」（介助の方法）

「自発的に体を動かすことが全くないため、協力動作もなく、一連の行為全て全介助で行う。（→テキスト定義上の説明）

体重約120Kgとかなり大柄であり、一人での介助が難しいため、二人がかりで行う。」

（→その人特有の事情による
介護の手間を説明）



2 特記事項記載のポイント



(2) 頻度の記載（有無）

- **有無**で選択する場合：
「具体的な頻度」を記載（例：週3回以上等）
 - **1週間に1回ある人も、毎日何回もある人も、**
同じ選択肢「3.ある」ですが、
「介護の手間」が随分違います。
- ⇒ 選択肢だけでは見えない
「介護の手間」を
特記事項から読み取るため、
「頻度」は「具体的」に記載してください。



2 特記事項記載のポイント

【頻度の記載】

☆ 記載例

4群の6 「大声を出す」 (有無)

① 「突然、内容不明の大声を出すことがある。
職員がなだめる対応 (5~10分ほど) を
とるとおさまる。 4~5日に1回程度ある。」

② 「「こら！」「○○が来た！」 (実際は何も
きていない) など、大声を出すことが
1~2時間に1回はある。家族がなだめる対応
(5~10分ほどかかる) をとるとおさまる。
昼夜問わずあり、家族は疲弊している。」

⇒ 同じ「3.ある」、でも

①と②で「介護の手間」の「量」が違う



おわり

金沢市福祉健康局
介護保険課

認定係

